

秋の虫の侵入防止対策

暑さも過ぎ去ると、秋の気配。冬物の準備を始める時期ですが、虫も冬越しの準備に入ります。

例えば冬に突然屋内に出てきて、その強烈なニオイで嫌われるカメムシ。対策を行うなら今の季節が重要です。冬に見かけるカメムシの多くは、この時期に雨風や寒さをしのげそうな場所を見つけてニオイで仲間を呼び、集団越冬の準備に入ります。このとき運悪く建物の窓の棧、天井裏、家具や資材などがカメムシに選ばれてしまうと、寒い時期でも屋内の暖かさで寝ぼけて出てきてしまうのです。

こういった虫はほかにもいるため、上記のような場所や建屋周辺

の遊休資材、草刈後の草や落ち葉を集めた場所など発生源になりそうな場所の除去や点検が重要です。

また、虫はわずかな隙間も侵入口や潜伏場所とします。建屋にある隙間を少なくする侵入防止対策も重要です。特にシャッターやドア、窓などは様々な理由で隙間があるため、虫にとっては明るい光や暖かい空気が漏れてくる誘引源、侵入源になります。そういった場所は防虫ブラシ等で塞いで、虫が入りにくくしましょう。



写真1：防虫ブラシ例

写真2：重量シャッター
隙間閉塞写真

隙間閉塞は簡単に見えて場所によって資材の選択や設置方法が異なります。弊社ではなるべく長持ちさせながら高い効果を出す設置方法をご提案いたします。ご興味があれば一度ご相談ください。

令和4年9月7日
農 林 水 産 省

「令和4年度病害虫発生予報第7号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稲では、斑点米カメムシ類の発生が、東北、南関東、北陸、東海、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 豆類では、吸葉性カメムシ類の発生が、近畿、中国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜では、オオタバコガの発生が、北東北、東海、近畿、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、栗刺カメムシ類の発生が、北陸、東海、近畿、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、水稲の紋枯病等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるの注意してください。

図：農林水産省「令和4年度病害虫発生予報
第7号」 一部抜粋

主に農業従事者に向けて、農業害虫の注意報や薬剤散布の目安の病害虫発生予報が定期的に一般に公開されています。

周辺に田畑等がある工場等では、こういった予報も侵入虫対策に役に立つかもしれません。

今月の

豆知識

時代は昆虫食！？

FAO（国際連合食糧農業機関）によると、今後の人口増加や環境問題に伴い、昆虫が有望な食材に成り得るとの報告があります。これを受けて、年々世界では昆虫食が注目されていることは知っていますか？

東南アジアや中南米、アフリカ等では昆虫食は文化として根付いています。かつては日本も昆虫食大国でした。大正時代には食用の虫は55種類を数えられたそうですが、戦後に20種類に減少。現在では郷土料理としてイナゴの佃煮やハチの子等が残るのみになりました。しかし昆虫食がふたたび注目を浴び始めており、

その動画やレシピがインターネットやYoutubeなどで紹介され話題になっています。そんな昆虫食が苦手な人でも食べられるようなコオロギの粉末を使った加工食品や、食べやすい虫も登場しています。（筆者も昆虫食のコオロギやサソリ等に挑戦しましたが、複雑な味わいでした。）

まだ一般に広く受け入れられているとは言いにくいですが、高タンパクで低脂肪な食材です。いずれは普通に食卓に並ぶ日が来るかも！？

食欲の秋にちなみ、先入観を捨てて

昆虫食に挑んでみてはいかがでしょうか。



東洋産業株式会社

本社

岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL 086-241-8080・FAX 086-241-8094

拠点

大阪・姫路・岡山・倉敷・福山・広島・高松・松山・金沢